

『傷寒論を読もう』第1版第3刷訂正箇所

- P31 条文4 1～2行目 静カナル者八伝エズト為ス。 静カナル八伝ワラズト為ス。
- P31 条文4 3行目 急ナル者八 急ナルハ
- P60 下段14行目 附子が経脈を 附子は経脈を
- P61 上段8行目 これらの経過をみれば、 これらの経過を予見できれば、
- P79 条文37 1行目 十日ヲ以テ去ラズ、 十日ヲ以テ去リ、
- P84 条文40 14行目 茯苓 茯苓
- P86 下段15行目 症状は逆戻り 症状に逆戻り
- P88 条文43 2行目 解セザル故ナリ。 解セザルガ故ナリ。
- P92 条文48 最終行 脈瀦ノ故ヲ以テ知ルナリ。 脈瀦ナルヲ以テノ故ニ知ルナリ。
- P94 条文49 最終 愈ユ。 愈ユベシ。
- P128 条文82 2行目 (ルビ)オ タオ
- P130 条文84 後ろから3行目 壊証 壊病
- P136 条文91 2行目、3行目 急イデ 急ギ
- P136 条文91 4行目 裏ヲ救ウハ四逆湯ガ宜シ、表ヲ救ウハ桂枝湯ガ宜シ。
裏ヲ救ウニハ四逆湯ガ宜シク、表ヲ救ウニハ桂枝湯ガ宜シ。
- P149 上段8行目 壊証 壊病
- P151 上段13行目 除かれない者 依然存続する者
- P151 上段17行目、19行目 壊証 壊病
- P154 下段4行目 二六四 一〇七
- P158 条文106 7行目 桂枝二両 桂枝二両(漢数字の二)
- P170 上段6行目、下段14行目 壊証 壊病
- P171 上段1行目 壊証 壊病
- P171 下段 最終行 裏熱は 裏熱が
- P171 上段3行目 加えるために 加えたために
- P171 上段9～10行目 痺れる 痛む

- P175 条文 120 2行目 悪寒、発熱せず、 悪寒せず、発熱シテ、
- P187 99条 合病は、 合病で、
和解。 和解すべき場合。
- P204 上段 後ろから2行目 誤治して 誤下して
- P243 下段 10行目 病む表証で 病む表証の
- P243 下段 12行目 陽明熱証 陽明熱経
- P246 条文 170 1行目 発熱無汗、其ノ表解セザレバ、 発熱無汗ハ、其ノ表解せず、
- P262 159条 下痢、赤石 下痢は赤石
- P266 187条 太陰あるいは陽明となす 太陰病の黄疸
- P267 203条 亡津・大便鞭 亡津し大便鞭
- P268 258条 協熱不利 協熱下痢
- P293 上段 後ろから8行目 傷寒に発作・吐 太陽傷寒に、吐
- P297 条文 217 4行目 表虚裏実ヲ以テノ故ナリ。 表虚裏実ノ故ヲ以テナリ。
- P311 条文 237 2行目 尿 尿
- P314 上段 6行目 虚寒証 虚経証
このあとの二四三条に出てくる呉茱萸湯 前の二二一、二二八条に出た梔豉湯
- P332 203条 陽明経証は瀉下しては 陽明経証は発汗や瀉下しては
- P342 上段 後ろから10行目 壊証 壊病
- P376 条文 306 1行目 膿血便 便膿血
- P392 下段 4行目 あったにの対して あったのに対して
- P394 条文 325 1行目 少陰病ノ下痢ハ 少陰病、下痢シテ、
- P403 条文 332 最終行 此熱気 此レ熱気
- P415 条文 352 1行目 寒有ルハ 寒有ル者ハ
- P416 上段 後ろから2行目 寒邪に侵されるので、 寒邪に侵されている時は、